

独立自尊の社会・世界に
貢献する人財を育成する



株式会社ナガセ

2025年3月期第1四半期 決算説明資料

2024年7月24日

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校
早稲田塾

でてこい、未来のリーダーたち。
四谷大塚

 木村塾

 イマスイミングスクール
 イマスイホッパスクール
東進ビジネススクール
 TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

目次

1

会社概要

P. 2

2

業績振り返り / 業績予想

P. 5

3

Appendix.

P. 11

1. 会社概要

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。

四谷大塚



ITマシニングスクール
ITマシホ-スクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

事業概観

企業理念「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」

生徒数 約**37万人**

全国3,000拠点
民間最大の教育機関



でてこい。未来のリーダーたち。

四谷大塚

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚 NET



中学受験
小学生 約3.2万人

大学受験高校生 約12万人

社会人

大学生

高校生

中学生

小学生

幼児

東進こども英語塾



東進ハイスクール中学部
東進中学NET

東進オンライン学校

AIリーダー研修
語学・ビジネススキル研修

東進ビジネススクール



大学生～社会人約7.2万人

スイミングスクール約10万人



おおはし ゆい
大橋悠依選手
2021年東京五輪
金メダル二冠



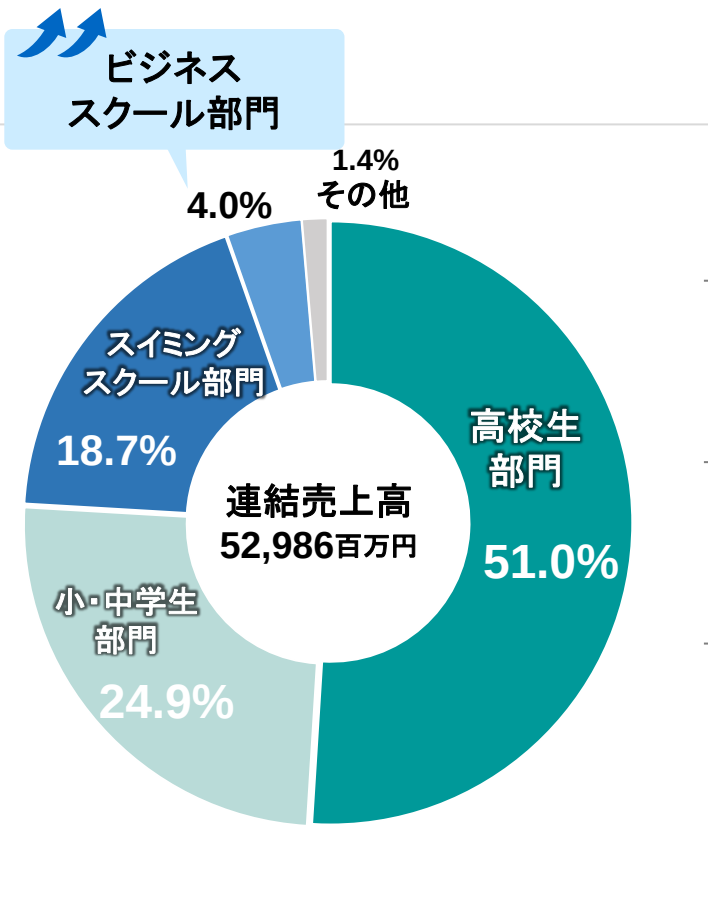
ほんだ ともる
本多灯選手
2021年東京五輪
銀メダル



いりえ りょうすけ
入江陵介
2012年ロンドン五輪
銀メダル

※2024年4月現役引退

セグメント別の売上構成比(2024年3月期)



- 1 高校生 東進ハイスクール 東進衛星予備校 WASEDAJUKU 早稲田塾
- 2 小・中学生 四谷大塚 東進中学NET 小・中学生指導 木村塾
- 3 スイミングスクール ISS イマスイミングスクール ISS イマスイポ・スクール
- 4 ビジネススクール (AI・DX領域) 東進ビジネススクール TD TOSHIN DIGITAL UNIVERSITY

2. 業績振り返り / 業績予想

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚



ITマシニングスクール
ITマシホ-スクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

2025年3月期第1四半期の連結業績概況

(単位:百万円)	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2025年3月期1Q (当期)	11,145		△291		△314		△253	
2024年3月期1Q (前期)	11,691		△169		△138		△150	
前年比 (%)	△545	△4.7%	△121	-%	△175	-%	△102	-%

- 売上高は、前年比△545百万円(4.7%減)となりました。
 - ①ビジネススクール部門の減収 △476百万円 (前期あった企業向けIT・DX講座の受注が第2四半期以降の見込みとなったため)
 - ②高校生部門の減収 △231百万円 (前期末の在籍生徒数減の影響による減収 / 足元の新規生徒入学数は前期比増)
 - ③その他の部門の増収 134百万円 (小中学生部門+68百万円、スイミングスクール部門+28百万円、その他部門+37百万円)
- 経費面では、前年比△423百万円(3.6%減)となりました。

賃金ベースアップに伴う人件費などの増加要因はあったものの、広告宣伝費、賃借料の削減の他、費用対効果の検証を通じて経常経費をコントロールしたことによるものです。

 - ①広告宣伝費の減少 △468百万円 (前期は全国統一小学生テストに関する新作TVCM制作費用あり)
 - ②賃借料の減少 △ 58百万円 (早稲田塾、ナガセで、校舎移転による物件費の圧縮などにより減少)
- 利益面では、経費削減効果はあったものの、ビジネススクール部門の減収減益を主因として、各利益とも昨年を下回りました。

2025年3月期第1四半期の連結業績概況(セグメント別業績)

(単位:百万円)	2024年3月期1Q		2025年3月期1Q		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)		
売上高	11,691	100.0%	11,145	100.0%	△545	95.3%
高校生	5,723	49.0%	5,492	49.3%	△231	96.0%
小・中学生	2,704	23.1%	2,773	24.9%	68	102.5%
スイミングスクール	2,459	21.0%	2,487	22.3%	28	101.2%
ビジネススクール	628	5.4%	151	1.4%	△476	24.1%
その他	465	4.0%	502	4.5%	37	108.0%
連結調整※	△289	-	△261	-	-	-
	実績	利益率(%)	実績	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	△169	-%	△291	-%	△121	-%
高校生	484	8.5%	398	7.3%	△86	82.2%
小・中学生	△112	-%	325	11.7%	438	-%
スイミングスクール	89	3.6%	111	4.5%	22	124.8%
ビジネススクール	366	58.2%	△166	-%	△532	-%
その他	37	8.1%	87	17.5%	50	233.0%
連結調整※	△1,033	-	△1,048	-	-	-
経常利益	△138	-%	△314	-%	△175	-%
四半期純利益	△150	-%	△253	-%	△102	-%

2025年3月期1Q 売上高変動要因

- 高校生部門
 - 足元の新規生徒入学数は前年を上回るものの前期末在籍数減が影響し、前年比では **4.0%減**となった。
- 小・中学生部門
 - 2023年1月にグループ会社となったヒューマレッジ(木村塾等)が前年比6.9%増と好調に推移しており、部門全体としても前年比 **2.5%増**となった。
- スイミングスクール部門
 - 在籍数が概ね前年並みに回復したことに加え、学校受託収入の増加により、全体として前年比**1.2%増**なった。
- ビジネススクール部門
 - 企業向け研修でIT・DX研修の大口受注が昨年は1Qに計上されたが、当期は受注が第2四半期以降の見込みとなったため、前年比**75.9%減**となった。

2025年3月期1Q 利益変動要因

- 主な減益要因
 - ① BS部門(受注時期の変動) △532百万円
 - ② 高校生部門(売上高減少) △86百万円
- 主な増益要因
 - ① 小・中学生部門(広宣費減) 438百万円

全体では、前年比営業利益**121百万円減**、経常利益**175百万円減**、四半期純利益**102百万円減**となった。

※ 連結調整額にはセグメント間取引消去額、各報告セグメントに配分していない全社費用を含む

2025年3月期の連結業績予想

(単位:百万円)	2024年3月期		2025年3月期		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	計画	構成比(%)		
売上高	52,986	100.0%	54,629	100.0%	1,643	103.1%
高校生	27,016	51.0%	27,711	50.7%	695	102.6%
小・中学生	13,214	24.9%	13,229	24.2%	15	100.1%
スイミングスクール	9,909	18.7%	10,288	18.8%	379	103.8%
ビジネススクール	2,124	4.0%	2,650	4.9%	526	124.8%
その他	1,939	3.7%	1,969	3.6%	30	101.5%
連結調整※1	△1,218	-	△1,218	-	-	-
	実績	利益率(%)	計画	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	4,538	8.6%	5,526	10.1%	988	121.8%
経常利益	4,323	8.2%	5,236	9.6%	913	121.1%
当期純利益	2,602	4.9%	3,236	5.9%	634	124.4%

※1 連結調整額にはセグメント間取引消去額を含む

2025年3月期 売上高計画要因

- 高校生部門
 - 前年第4四半期から入学者数が回復基調になってきたこと、また、当期新たに設置する「高校別対応の個別指導コース」による増収効果を勘案し、前年比**2.6%増**とした。
- 小・中学生部門
 - ヒューマレτζは生徒数増加が見込まれるものの、四谷大塚の足元の生徒在籍数を勘案し、前年同水準とした。
- スイミングスクール部門
 - 足元の生徒数回復傾向の継続と学校受託事業など新規事業の増収効果を反映し、前年比**3.8%増**とした。
- ビジネススクール部門
 - 大学向けでは入学前教育、企業向けでは語学、ビジネス教養分野の既存分野に加え、DX・ITリテラシー教育の需要増を捉えた新分野での講座提供を見込み、前年比**24.8%増**とした。

2024年3月期利益計画要因

- 営業利益
 - 各部門の増収効果と既存経費の前年同水準でのコントロールにより、前々期(第48期)実績並の利益率まで回復することを見込み、前年比**21.8%増**とした。
- 当期純利益
 - 会社別の営業利益、経常利益を元に税金費用を見積もり、前年比**24.4%増**とした。

株主還元

- 当社は、事業の成長また経営基盤強化など、事業展開を進めるうえで必要な内部留保を確保し、財務の健全性を維持するとともに、業績に応じた株主への利益還元を行うことを利益配分の方針としております。

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	株式分割 1株↓3株	2024年3月	2025年3月 (予想)
配当 (円)	100	130	130	130	130	130	130	200	300		100	100
配当性向 (%)	44.3%	35.8%	45.1%	44.2%	113.4%	39.1%	47.0%	51.0%	65.8%		101.2%	81.4%

当社は2023年4月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を実施いたしました。これにより、発行済株式数は30,445,227株となり、「2023年3月期決算短信」以降の開示文書では、1株あたりの各数値は換算値で表示されております。(例:配当300円→100円)

お問い合わせ先

常務取締役 総務本部長 内海 昌男

TEL: 0422-45-7011

WEBサイト: <https://www.toshin.com/nagase/>

本資料における留意点について

本資料は、当社の事業、業績等に関する一般的な情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいた当社独自の業績予測や将来の見通しが含まれており、当社はその正確性や完全性を保証または約束するものではありません。

判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が計画と異なること、計画が予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

Appendix.

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。

四谷大塚



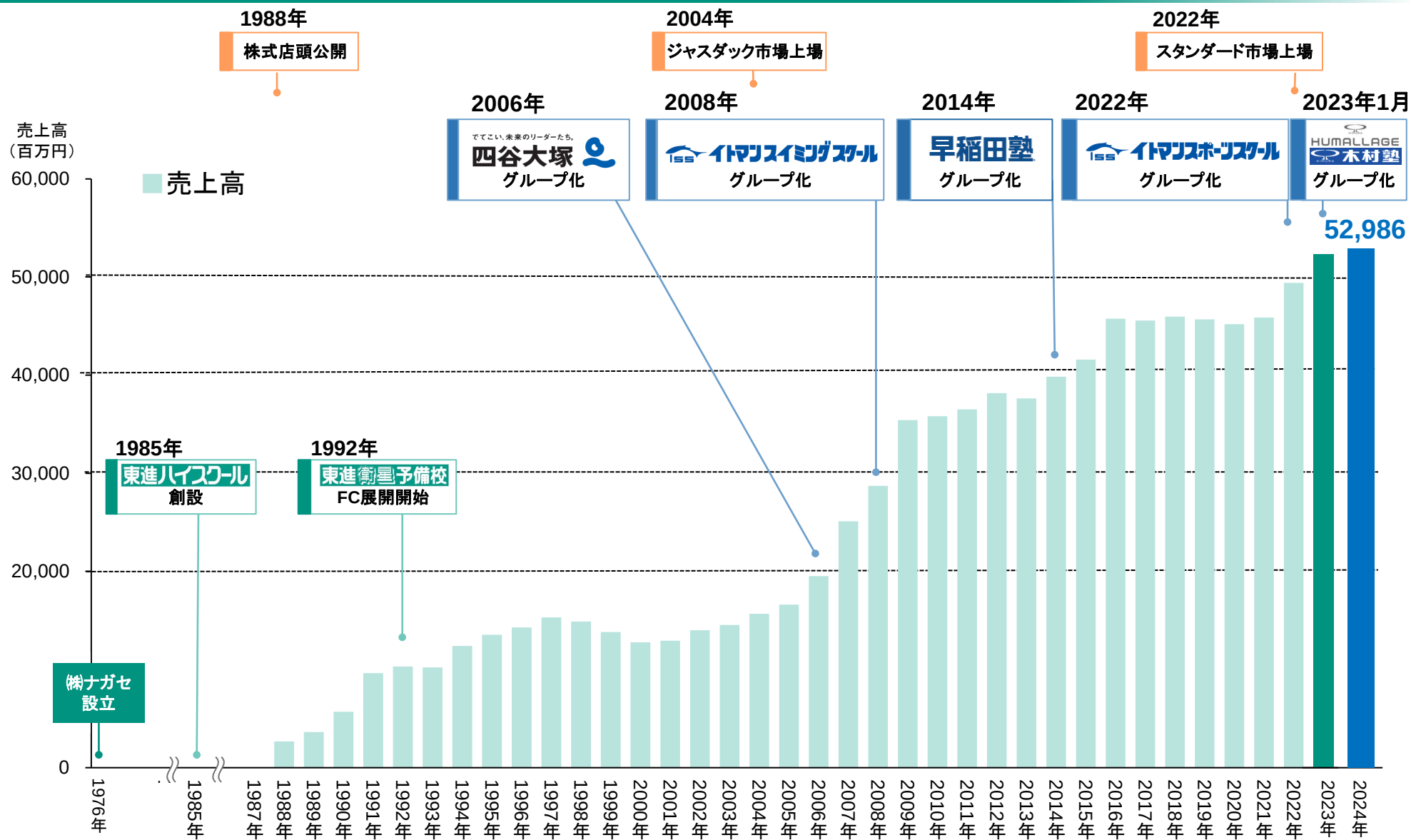
ITマシニングスクール
ITマシホーテスクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

ナガセ成長の軌跡



※ 財務数値は各年3月期の数値を示す

2020年3月期~2025年3月期第1四半期

四半期連結決算業績概況

- 当社の事業は、受験や進級・進学シーズンを節目に、季節性を有します。
- 新学年の開始時期である第1四半期は費用が先行し赤字となるケースも多く、その後第2四半期以降、特に生徒数がピークを迎える第3四半期・第4四半期に売上・利益ともに増加するという季節的な変動があります。

	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	8,957	11,180	12,879	12,164	7,744	10,759	13,497	13,851	9,996	12,131	13,715	13,561	11,065	13,133	14,343	13,812	11,691	13,706	14,184	13,405	11,145
営業利益	△404	1,627	2,166	1,186	△1,233 ※	903	2,868	1,603	114	1,539	2,339	1,597	400	2,045	2,544	380	△169	1,599	2,317	790	△291
経常利益	△487	1,542	2,127	1,068	△1,292 ※	807	2,764	1,782	91	1,385	2,253	1,423	399	1,897	2,439	335	△138	1,468	2,283	709	△314
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△321	1,060	1,470	716	△917	559	1,954	830	76	951	1,558	854	937	1,315	1,629	117	△150	847	1,463	442	△253

※ 2021年3月期の連結営業利益および連結経常利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業停止により発生したスイミングスクール部門における損失450百万円を特別損失に振り替える前の数値を掲載

高校生部門:2024年3月 新たなコース「高校別対応の個別指導コース」を開講



キミの高校に対応

新登場！

難関大現役合格実績 **日本一**の東進が
高校の成績アップに本気の挑戦！



高校別対応の 個別指導 コース



(高等学校対応コース) 対象: 高2生・高1生



キミの高校に対応

高校の成績
を伸ばしたいキミへ



目指せ! 「定期テスト」20点アップ!

東進で定期テストの得点急上昇

20点以上UPが続出!

受講者^{*}の**81.1%**が10点以上成績アップ!

自分の学力と学校での教材をもとに適切な学習内容を提示

高校生部門:2024年3月 新たなコース「高校別対応の個別指導コース」を開講

① 自分の高校で使用している教科書・傍用問題集を登録

高等学校対応コース

Step1. 教科書・参考書/問題集を選択して保存 Step2. 過去の試験日程を登録して保存
Step3. Step1で登録した教科書・参考書/問題集から、試験範囲(ページ)を登録して保存 → 試験までにどの問題を登録すべきが自動でレコメンド。右上の「高等学校対応コースTOP画面へ」をクリック

2024

教科書 参考書/問題集 試験日程・点数 試験範囲 保存

学年 高1

教科	科目	出版社	教科書名
英語	英語コミュニケーションⅠ	選択	選択
	英語コミュニケーションⅡ	選択	選択
	英語コミュニケーションⅢ	選択	選択
	論理・表現Ⅰ	選択	選択
	論理・表現Ⅱ	選択	選択
	論理・表現Ⅲ	選択	選択

科目	出版社
英語コミュニケーションⅠ	選択

数学C	選択
-----	----

② 定期テストごとに試験範囲・得意不得意を登録

教科	科目/カテゴリ	教科書名/参考書名	試験範囲	範囲追加
英語	英語コミュニケーションⅠ	All About! English Communication 1 (令和2年度)	p 14 ~ p 37	− +
	英文法	Vintage 英文法・語法 3rd Edition	p 10 ~ p 20	− +
	論理・表現Ⅰ	Vision Quest English Logic and Expression 1 (Advanced) (令和2年度)	p 7 ~ p 34	− +

得意/不得意	試験範囲	範囲追加
教科	p 14 ~ p 37	− +
数学	p 10 ~ p 20	− +
	p 7 ~ p 34	− +

試験範囲	範囲追加
p 8 ~ p 50	− +
p 6 ~ p 41	− +

「基礎学力診断テスト」の結果や教科書・傍用問題集と定期テストの試験範囲の情報を
もとに、テストまでに取り組むべき授業・演習をシステムが自動的に提示。仮に試験範囲
が同じ単元でも、使用している教材や学力に応じて提示される学習内容は異なる。

学習項目を英語約200項目、数学Ⅰ・A約450項目に細分化
中学範囲の復習から 講義15分＋演習15分で着実に力をつけていく

高校生部門:2024年3月 新たなコース「高校別対応の個別指導コース」を開講

これまで



これから



東京大学をはじめ
トップから入り
上位指導



高等学校での学習
に苦戦する生徒の
学力向上

コース毎の在籍者の高校レベル*占有率
(大学受験コースと高校別対応の個別指導コース)

* 高校レベル=当社で合格実績の区分毎に設定したレベル

No	高校レベル	高校数	大学受験コース	高校別対応の 個別指導コース
1	最上位/上位	266高校	39.6%	9.0%
2	中上位	753高校	43.1%	44.2%
1+2	小計(最上位～中上位)	1,019高校	82.7%	53.2%
3	中位以下	3,850高校	17.3%	46.8%

現状のマーケットの約4倍の新たなマーケットから生徒が集まりつつある

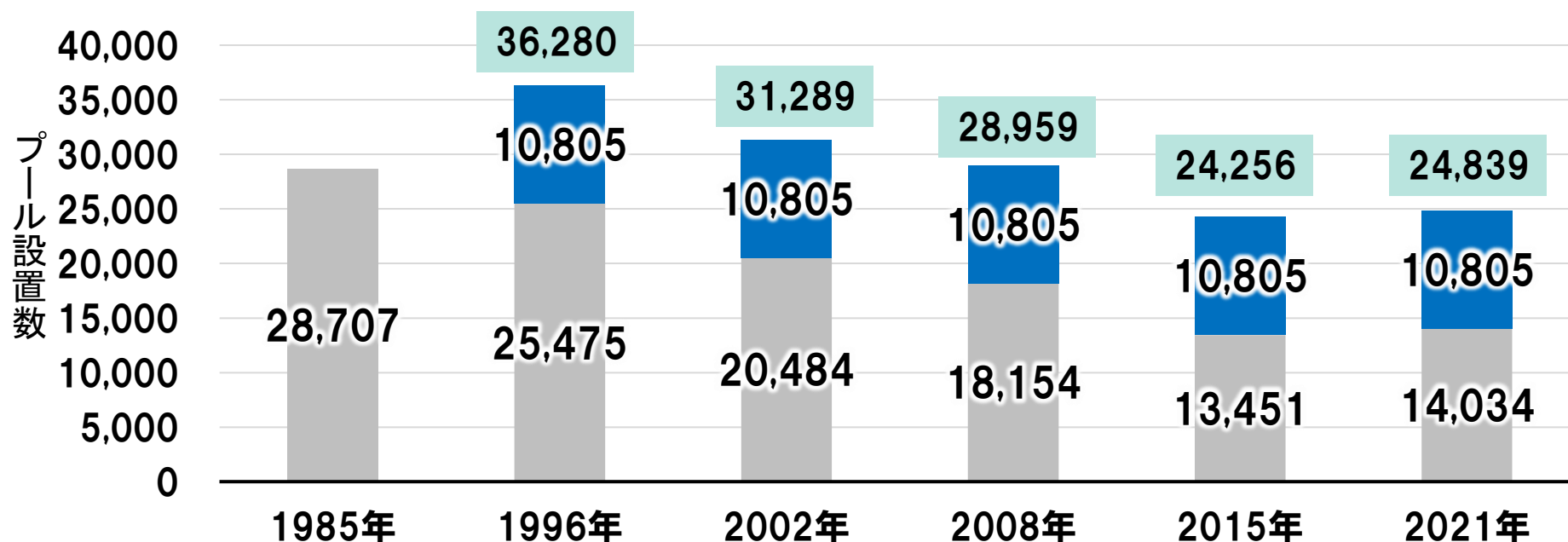
今後の発展について:水泳授業の外部委託が進んでいます

学校のプールの老朽化に伴って水泳授業委託・指導員派遣などのニーズが高まっている

小・中・高におけるプールの設置数推移

出典:文部科学省 体育・スポーツ施設現況調査

■ 1985年から1996年に増設されたプール数



1985年から1996年にかけてプールが大きく増えた
多くのプールが今後耐用年数を迎える(プール耐用年数は30～40年)

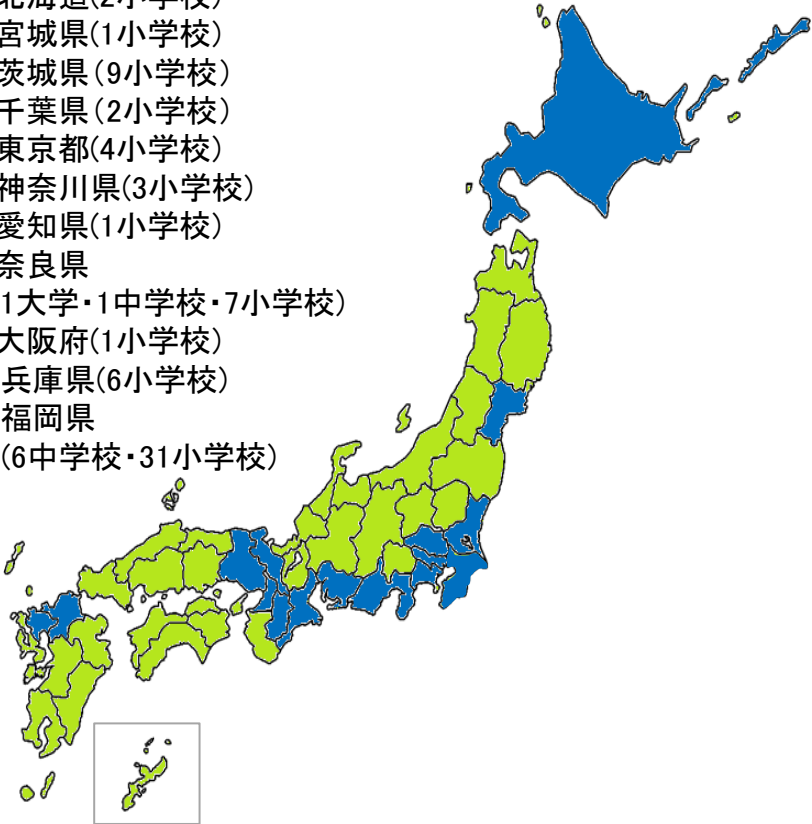
今後の発展について:水泳の授業受託には大きな可能性がある

イトマン校舎＝全16都道府県 まだまだ大きなマーケットが全国にある

■ ... イトマンスイミング＋イトマンスポーツ 校舎がある地域(16都道府県)

現在、75の学校で授業を受託

- 1 北海道(2小学校)
- 2 宮城県(1小学校)
- 3 茨城県(9小学校)
- 4 千葉県(2小学校)
- 5 東京都(4小学校)
- 6 神奈川県(3小学校)
- 7 愛知県(1小学校)
- 8 奈良県
(1大学・1中学校・7小学校)
- 9 大阪府(1小学校)
- 10 兵庫県(6小学校)
- 11 福岡県
(6中学校・31小学校)



	小学校		幼稚園 ＋認定こども園	
	設置数	児童数	設置数	児童数
全国	19,161	6,151,305	15,768	1,744,706
16都道府県計	10,558	4,072,046	9,210	1,142,992
1北海道	966	227,372	644	70,293
2宮城県	367	111,148	311	33,164
3茨城県	451	132,729	378	40,268
4埼玉県	806	359,989	625	96,231
5千葉県	759	303,407	586	79,593
6東京都	1,327	624,426	1,014	130,036
7神奈川県	882	446,637	775	113,692
8静岡県	500	180,387	631	64,370
9愛知県	968	401,581	634	98,923
10三重県	366	88,413	225	20,221
11京都府	365	118,394	332	36,883
12大阪府	986	416,847	1,214	162,231
13兵庫県	742	275,186	993	101,476
14奈良県	190	63,595	237	21,272
15福岡県	720	278,438	483	60,922
16佐賀県	163	43,497	128	13,417

出典：文部科学省 令和4年度学校基本調査